

第20回応用生態工学会 北信越現地ワークショップ in 新潟

■テーマ：越後平野における生態系ネットワークとグリーンインフラ

越後平野の地域資源を活用した持続可能な生態系ネットワークの形成に向けた取り組みの現状とその構成要素となるグリーンインフラの考え方を理解することによって、地域の産官学民がそれぞれ取り組むべき課題を把握し、地域に根差した生態系ネットワークの形成によるこれからの地域資源の活用の方角性を探ります。

1日目 ワークショップ【WEB配信併用】

日時：令和4年10月14日（金）10:00～17:00（受付：9:30）

場所：新潟ユニゾンプラザ 多目的ホール
（新潟市中央区上所2丁目2-2）

内容：テーマに沿った基調講演、講演（9題）、総合討論

費用：会員2,000円、非会員2,500円、学生1,000円

2日目 フィールドワーク（現地見学会）先着30名

日時：令和4年10月15日（土）9:00～17:00（受付：8:30）

場所：新潟駅南口貸切バス乗り場集合

内容：越後平野のグリーンインフラを訪ねて～越後平野エコツアー～

費用：会員2,000円、非会員3,000円、学生1,000円

注）本会は、（一社）全国土木施工管理技士会連合会のCPDS認定プログラムです。
また、（一社）建設コンサルタンツ協会のCPD認定プログラムです。



詳細・申込はこちら



URL：<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdEPiy9gIs-ruhztT1t5V2NKcrX6ZM-dhXCMoRmALsMTxtXS2Q/viewform>

主催：応用生態工学会 第20回応用生態工学会 北信越現地ワークショップ in 新潟 実行委員会

協賛：（一社）北陸地域づくり協会、新潟県河川協会、新潟県土地改良事業団体連合会、（一社）新潟県建設業協会

後援：国土交通省北陸地方整備局、農林水産省北陸農政局、関東地方環境事務所、新潟県、新潟市

新潟日报社、日刊建設通信新聞社、（公財）リバーフロント研究所、（一社）建設コンサルタンツ協会北陸支部

（公社）日本技術士会北陸本部、新潟県土木施工管理技士会、NPO法人水環境技術研究会

NPO法人信濃川大河津資料館友の会、NPO法人新潟水辺の会、新潟県ビオトープ管理士会

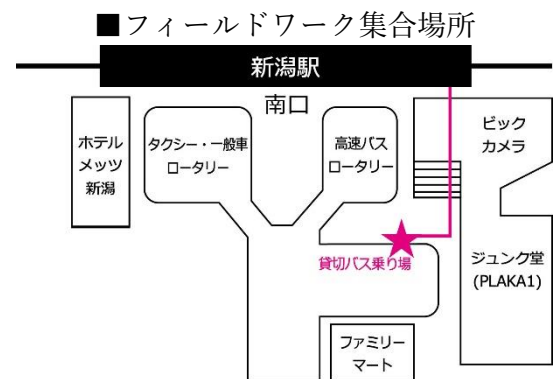
第20回応用生態工学会 北信越現地ワークショップ in 新潟【開催概要】

1日目：ワークショップ（WEB配信併用）

- ①日時 令和4年10月14日（金）10:00～17:00（受付9:30）
②場所 新潟ユニゾンプラザ 多目的ホール（新潟県新潟市中央区上所2丁目2-2）
③費用 会員2,000円、非会員2,500円、学生1,000円
④内容 開会あいさつ 実行委員長 新潟大学教授 関島 恒夫
基調講演：「生態系ネットワークとは何か？生態系ネットワークが目指すところ」
公益財団法人 日本生態系協会 専務理事 関 健志 氏
講演1：「越後平野の成り立ちと潟」
新潟国際情報大学教授 澤口 晋一 氏
講演2：「斐伊川水系生態系ネットワークと観光」
一般社団法人出雲観光協会 会長 田邊 達也 氏
講演3：「ハクチョウからみえる新潟の湿地」
新潟県水鳥湖沼ネットワーク事務局長 佐藤 安男 氏
講演4：「流域治水 × 生態系ネットワーク」
滋賀県立大学 准教授・公益財団法人リバーフロント研究所 技術参与 瀧 健太郎 氏
講演5：「越後平野における生態系ネットワークとグリーンインフラの事例」
北陸地方整備局 河川部 建設専門官 笹木 茂 氏
講演6：「天王川 トキの野生復帰に向けた川づくりの紹介」
新潟県佐渡地域振興局地域整備部 治水課長 近藤 宏樹 氏
講演7：「トキと共生する佐渡の里山を目指して」
佐渡市 農業政策課 トキ・里山振興係長 池田 一男 氏
講演8：「ラムサール条約湿地自治体の国内初の認証について」
新潟市環境部環境政策課 主査 高橋 良 氏
講演9：「越後平野の生態系ネットワークを活かした関係人口の創出～アドベンチャーツーリズムにフォーカスして～」
新潟国際情報大学准教授 藤田 美幸 氏
総合討論

2日目：フィールドワーク（現地見学会）先着30名

- ①日時 令和4年10月15日（土）9:00～17:00（受付8:30）
②場所 新潟駅南口貸切バス乗り場集合・受付（右図参照）
③費用 会員2,000円、非会員3,000円、学生1,000円
④内容 越後平野のグリーンインフラを訪ねて～越後平野エコツアー～
1. 萬代橋（万代橋）上流右岸側信濃川やすらぎ堤→
2. 関屋分水路・関屋分水資料館→3. 佐潟→
4. 西川と新川（立体交差河川）→5. 田んぼダム→
6. 鳥屋野潟・ビッグスワン→7. 福島潟→8. 新潟駅南口着



■申込方法・期限

参加申込みは、令和4年9月30日（金）迄にQRコード・URLよりアクセスし、入力ください。

また、参加費は、令和4年10月4日（火）迄に下記振込先へ入金ください。

期日までに申込み及び入金が確認できない場合は、参加いただくことができません。

◆ゆうちょ銀行【口座名称】応用生態工学会新潟【口座番号】11270-14664511

◆他金融機関より振込の場合【店名】一二八【店番】128【預金種目】普通預金【口座番号】1466451

URL：<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdEPiy9gIs-ruhzt1t5V2NKcrX6ZM-dhXCMoRmALsMTxtXS2Q/viewform>

■申込サイト



■問合せ先

応用生態工学会新潟（株）建設技術研究所 北陸支社内（担当：原文宏、金子 和代）

TEL：025-245-3883 FAX：025-241-9082 E-mail：f-hara@ctie.co.jp、k-kaneko@ctie.co.jp

注1) 本会は、（一社）全国土木施工管理技士会連合会のCPDS認定プログラムです。CPDS受講証明書をご希望の方は現地参加が条件となります。また、（一社）建設コンサルタンツ協会のCPD認定プログラムとして申請中です。

注2) 本会では新型コロナウイルス感染防止対策として受付にて検温を行います。その際、体温37.5℃を超える場合は入場いただけません。また、マスクを着用いただけない場合も入場をお断りします。

注3) フィールドワークは先着30名となります。定員を超えた場合は参加をお断りする場合がございます。また、フィールドワークは、各自昼食をご用意ください。昼食場所として道の駅「新潟ふるさと村」を予定しております。